

警察庁によると、75歳以上の高齢ドライバーの認知機能検査を強化した改正道路交通法の施行後9月末までに、全国で検査を受けた111万7876人のうち27%にあたる3万170人が、医師の診断が必要な「認知症のお

免許返納 過去最多

それ」と判定されました。このうち、医師の診断を終えた7673人中、1622人が認知症と判定されました。

認知症のおそれと判定された人のうち、6391人は診断前に免許を自

主返納しました。更新手続きをせず
に失効させた人も1267人いました。
75歳以上の高齢ドライバーが今年
1～9月に、免許を自主返納したの
は18万4897件で、過去最多にな

りました。

自主返納が増
加した理由は、

「高齢者事故に注目が集まり、医
師や家族から返納を勧められるケ
ースが増えたのではないか」と分
析されています。

交通安全三〇メモ